

# 機関投資家様向け会社説明会

2018年5月28日

山口フィナンシャルグループ 代表取締役 吉村 猛



# 平成29年度の業績概要

# 平成29年度決算の概要(グループ連結)

- 親会社株主に帰属する当期純利益は329億円と過去最高益(H27年度:322億円)を更新した。
- 役務取引等利益の増加、のれん償却/システム費用の減少により大幅に経費が減少した。

(億円)	H28年度	H29年度	前年比
経常収益	1,635	1,612	▲ 23
コア業務粗利益	1,040	1,090	+49
うち資金利益	887	907	+20
うち役務取引等利益	170	184	+14
うちその他業務利益	▲ 40	▲ 37	+2
経費(△) (除く臨時処理分)	757	705	▲ 52
コア業務純益	283	385	+101
臨時損益	108	68	▲ 39
うち株式等関係損益	107	96	▲ 10
経常利益	467	478	+10
親会社株主に帰属する当期純利益	315	329	+13
与信関係費用(△)	▲ 18	11	+30

※単位未満は切捨て表示。

## 決算概要

### 減収増益

- ・経常収益は国債等債券売却益の減少等により、1,612億円(前年比▲23億円)。
- ・経常利益は経費の減少等により、478億円(前年比+10億円)。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は329億円(前年比+13億円)。

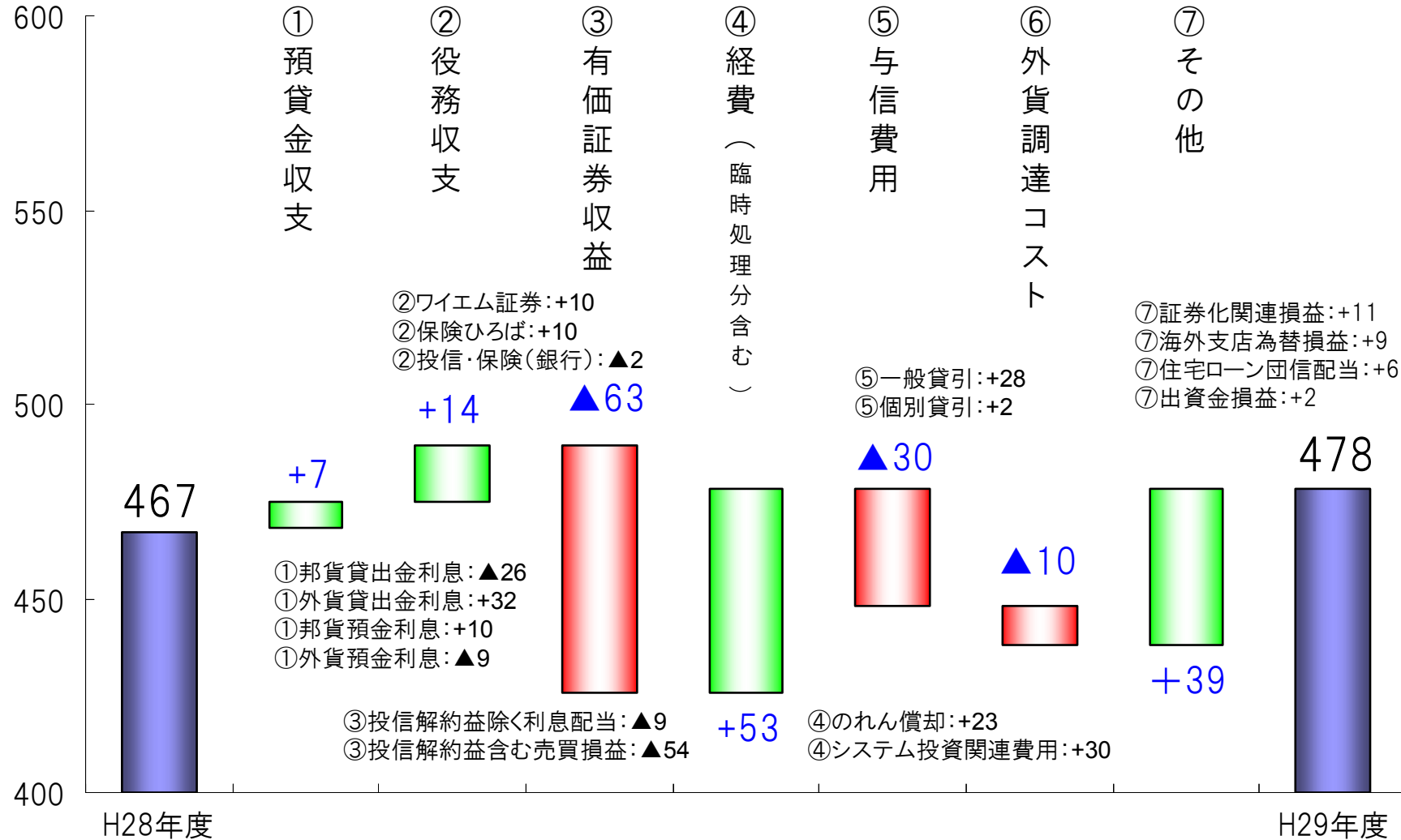
## 連単差

3行合算当期純利益	365億円
のれん償却費	△3億円
FG連結調整等	△33億円
YMFG連結当期純利益	329億円

# FG連結経常利益 増減要因(平成28年度⇒平成29年度)

【FG連結経常利益】

(単位:億円)



# 平成29年度決算の概要(グループ内銀行)

- FG本部経費の負担方法変更(3行合算▲56億円)により、グループ内銀行の経費は大幅に減少した。
- もみじ銀行は、昨年度の政策投資株式売却益(70億円)の剥落により、減収減益となった。

(億円)	H29年度 3行合算			前年比				
	山口	もみじ	北九州	山口	もみじ	北九州	山口	もみじ
経常収益	1,415	825	446	148	▲42	+34	▲100	+7
コア業務粗利益	978	519	341	117	+25	+19	+0	+5
うち資金利益	913	494	310	108	+21	+23	▲4	+2
うち役務取引等利益	121	77	36	7	+3	+4	▲1	+0
うちその他業務利益	▲56	▲52	▲6	2	+0	▲8	+6	+2
経費(△)除く臨時処理分	574	282	211	81	▲106	▲45	▲50	▲9
コア業務純益	403	237	129	36	+131	+65	+51	+14
臨時損益	66	65	▲9	10	▲10	+58	▲97	▲0
うち株式等関係損益	94	83	7	3	▲13	+50	▲66	+2
経常利益	495	327	120	47	+35	+58	▲37	+14
当期純利益	365	240	91	34	+48	+54	▲18	+12
与信関係費用(△)	10	7	9	▲5	+30	+6	+20	+3

※単位未満は切捨て表示。

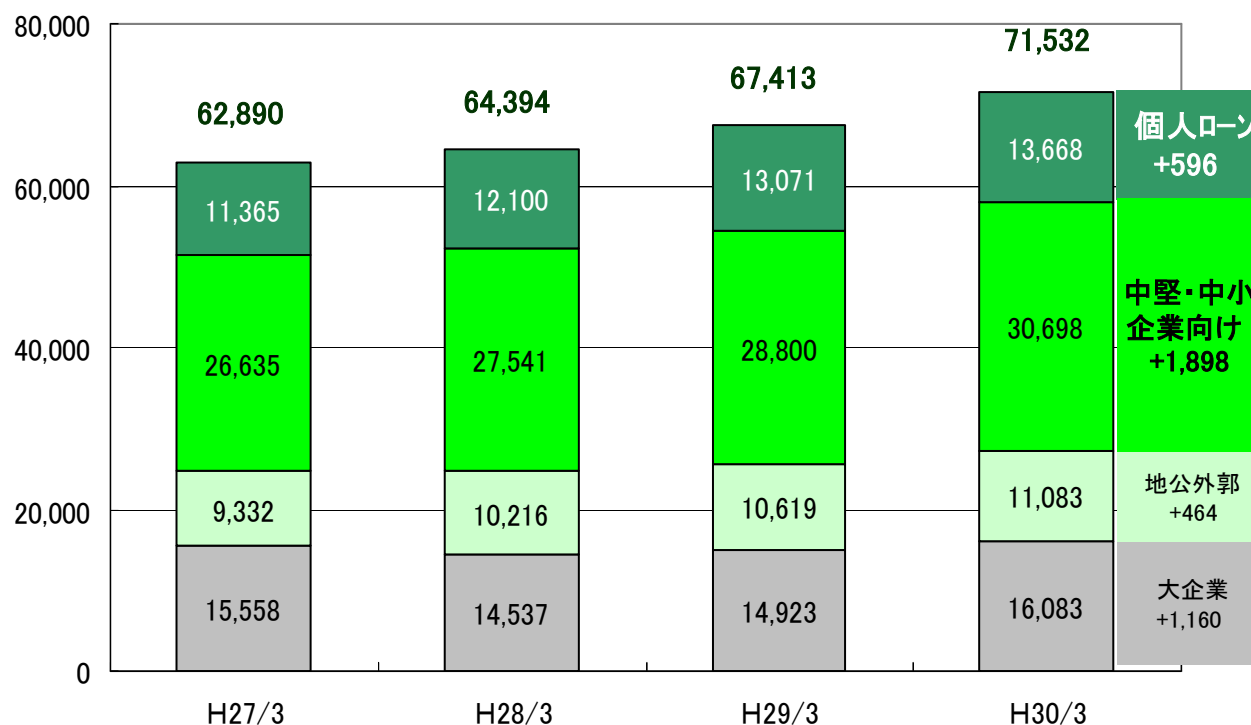
Yamaguchi Financial Group

# 貸出金の内訳(グループ内銀行合算)

- 3行合算の貸出金残高は前年比4,000億円超増加(+6.0%)し、設立来最大の伸びとなった。
- 中堅・中小企業向け、個人ローン(特に住宅ローン)が着実に伸長している。

貸出金末残内訳別推移 (国内店;単位:億円)

H30/3実績(H29/3比)



【個人ローン】

◆H29/3比+596億円(年率+4.6%)

山口銀行 +278億円(+4.6%)

もみじ銀行 +68億円(+1.3%)

北九州銀行 +249億円(+13.2%)

【中堅・中小企業向け】

◆H29/3比+1,898億円(年率+6.6%)

山口銀行 +728億円(+5.8%)

もみじ銀行 +707億円(+7.1%)

北九州銀行 +462億円(+7.0%)

【主要地域別貸出金残高(3行合算)】

◆H29/3比+2,372億円(年率+4.9%)

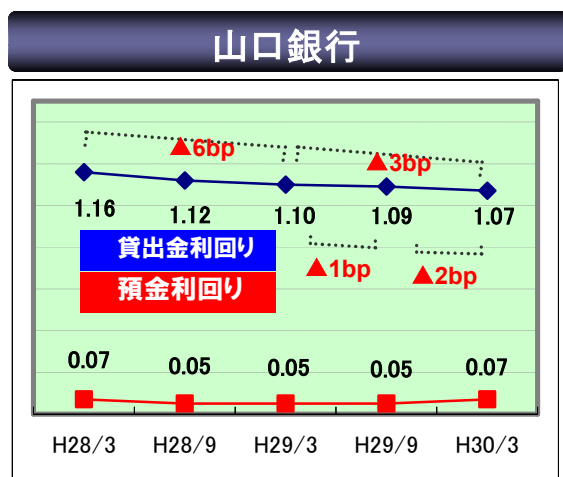
山口県 +714億円(+3.8%)

広島県 +1,244億円(+5.1%)

北九州市 +414億円(+8.0%)

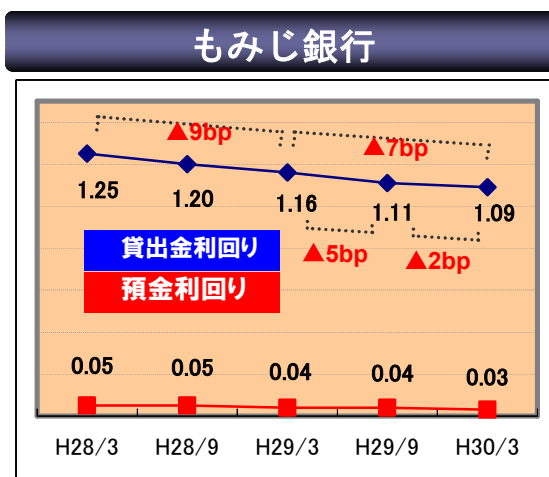
# 預貸金利回りの状況(グループ内銀行)

- 貸出金利回りはグループ3行にて低下幅は鈍化(半期比で▲2bp)している。
- 貸出金利息額ベースでは、山口銀行・北九州銀行は増加基調、もみじ銀行も下げ止まりの兆候が見られる。



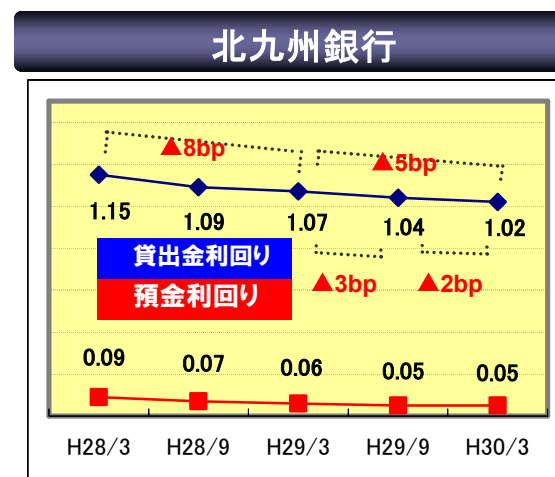
(%)

	H28年度	H29年度	前年比
貸出金	1.11	1.08	▲ 0.03
預金	0.06	0.06	0.00



(%)

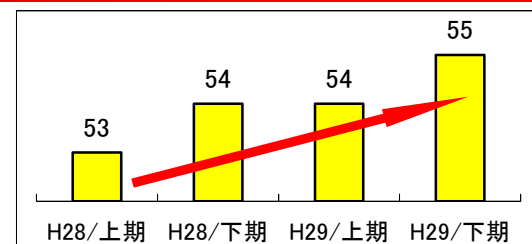
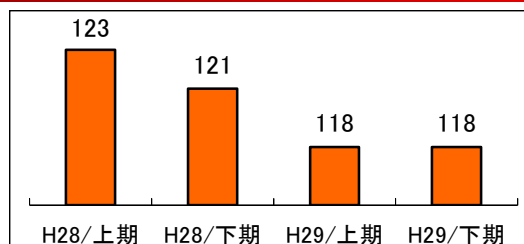
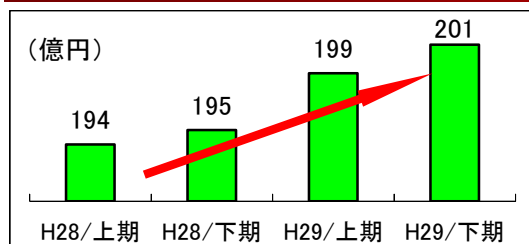
	H28年度	H29年度	前年比
貸出金	1.18	1.10	▲ 0.08
預金	0.04	0.03	▲ 0.01



(%)

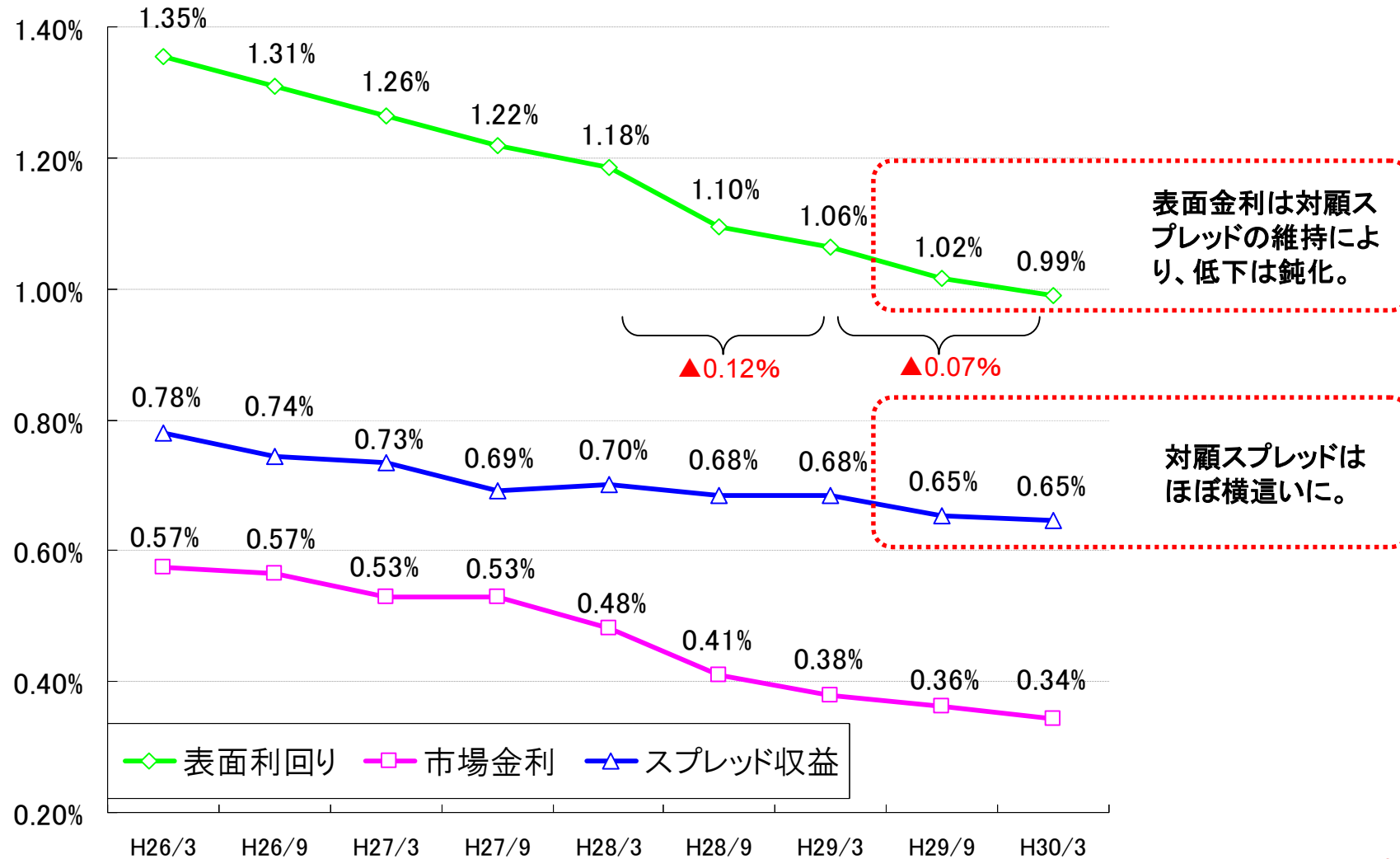
	H28年度	H29年度	前年比
貸出金	1.08	1.03	▲ 0.05
預金	0.07	0.05	▲ 0.02

山口銀行・北九州銀行は貸出金利息額ベースで増加基調、もみじ銀行も下げ止まり。



# 邦貨貸出金利回りの推移

【邦貨貸出金利回り】

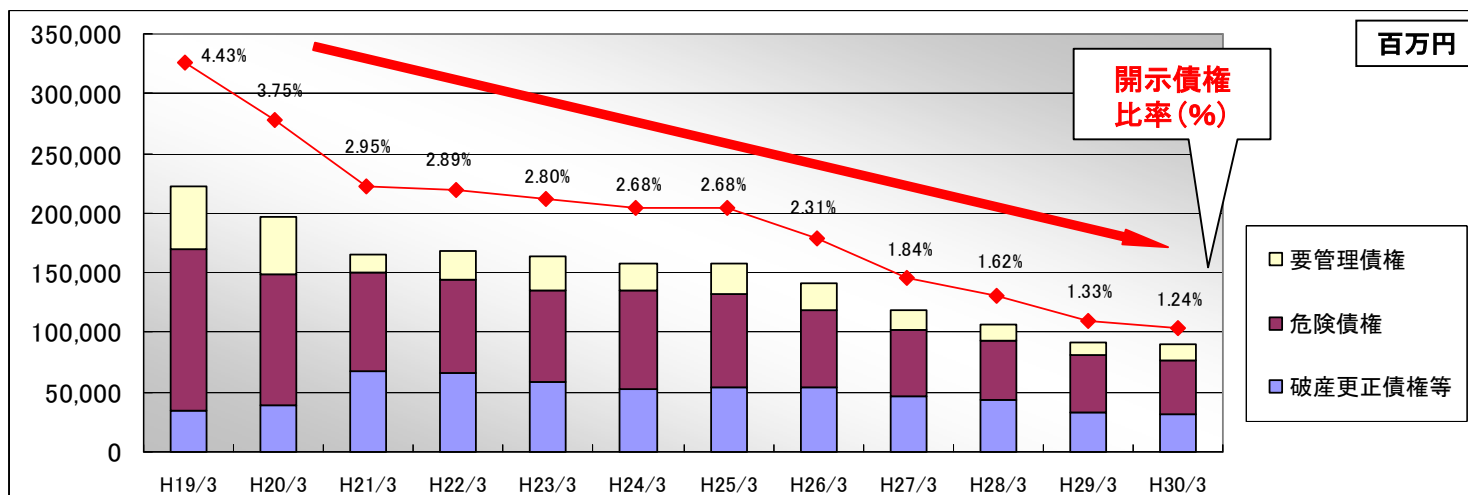




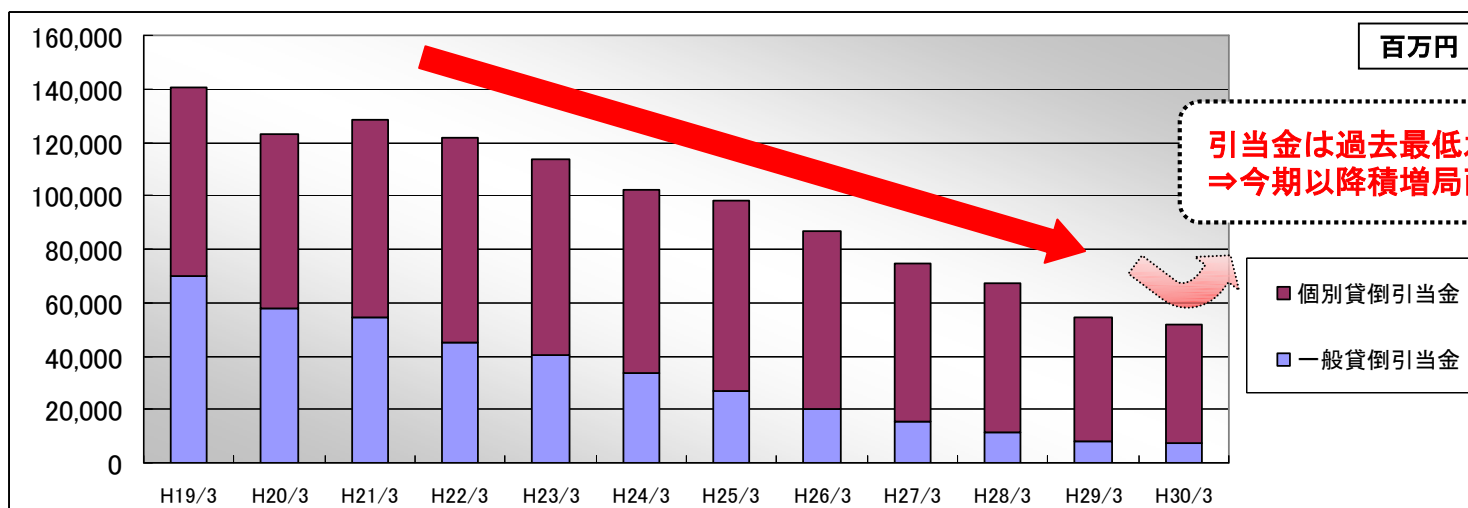
# 不良債権の状況(グループ内銀行合算)

●金融再生法開示債権残高は年次減少、平成30年3月期の同比率は1.24%と最低水準を更新した。

金融再生法開示債権残高  
(3行合算)



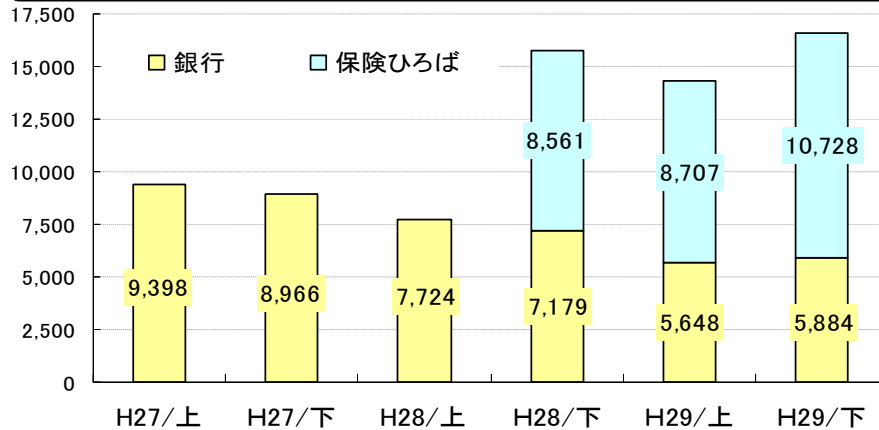
貸倒引当金の状況



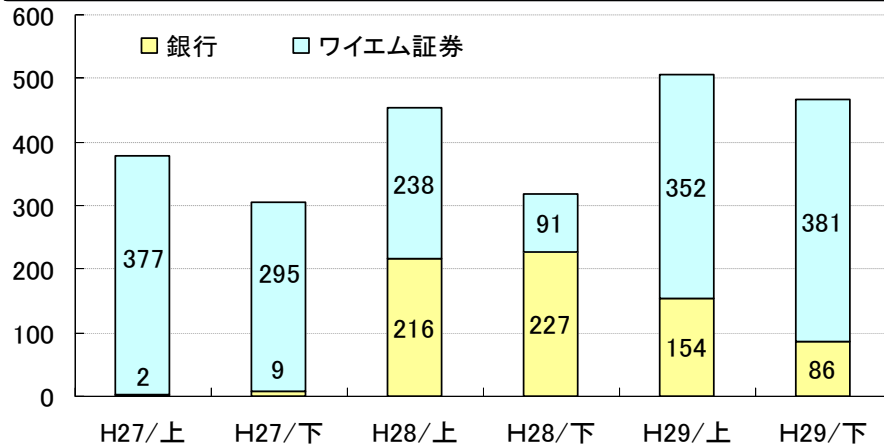
# 役務関連収益の状況

●個人預り資産残高積み上げ等により、グループ全体の個人向け役務関連収益は183億円（前年比+31億円）と大幅に増加した。

## ●保険販売件数（件）～銀行・保険ひろば～

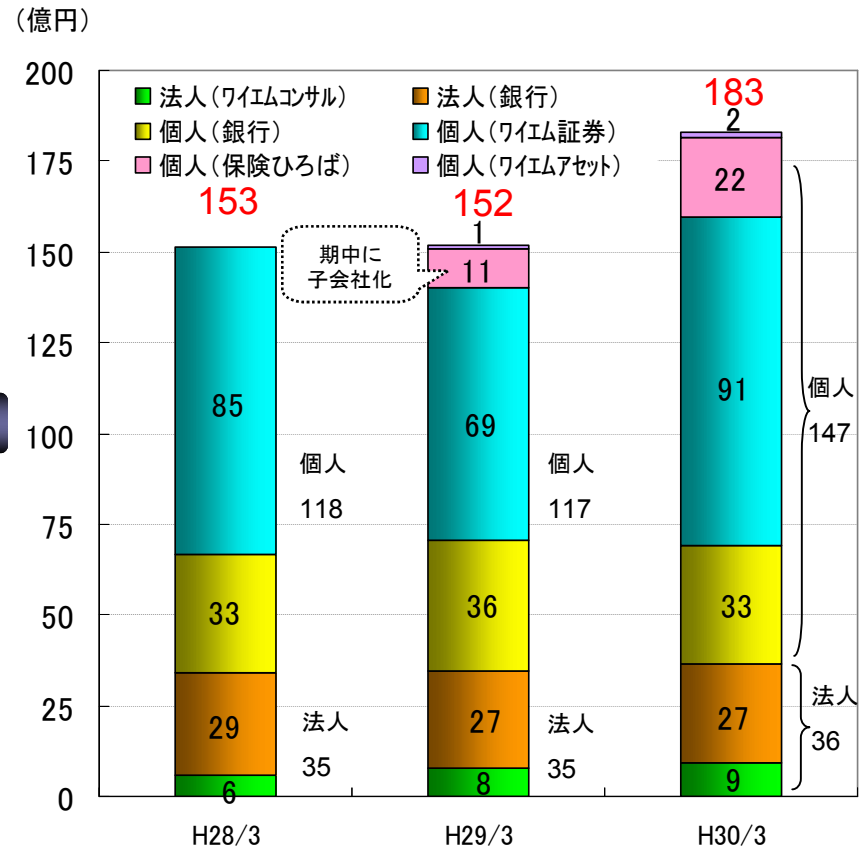


## ●投資信託販売額（億円）～銀行・ワイエム証券～



## ●役務関連収益の推移

ワイエム証券が好調、個人向け役務関連収益は大幅に増加

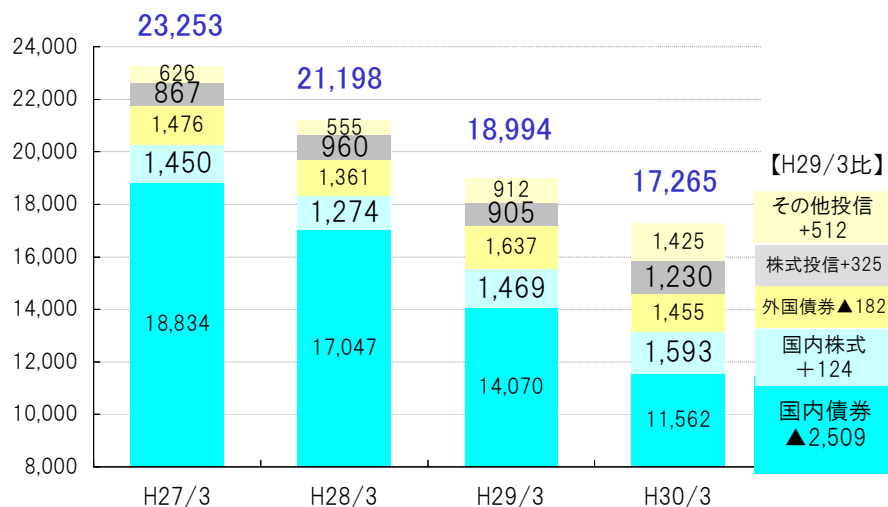


Yamaguchi Financial Group

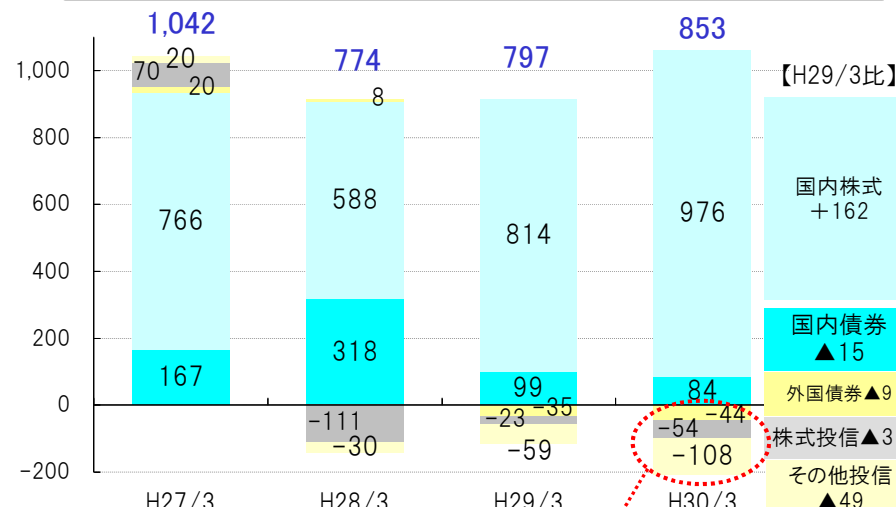
# 有価証券ポートフォリオ(グループ内銀行合算)

- 株式投信をはじめとした投資信託は増加、株価の上昇に伴う政策投資株式の時価も上昇した。
- 外国債券・投資信託の評価損益が悪化しており、今年度はポートフォリオの良化に舵を切る。

有価証券時価残高推移 (億円)



有価証券評価損益推移 (億円)



国内外債券デュレーション (年)

	H27/3	H28/3	H29/3	H30/3	H29/3比
山口銀行					
国内債券	4.31	4.72	5.35	6.01	+0.66
外国債券	5.36	4.45	5.05	4.95	▲0.10
もみじ銀行					
国内債券	3.63	4.15	5.75	6.05	+0.30
外国債券	2.67	2.94	4.05	6.30	+2.25
北九州銀行					
国内債券	9.61	8.19	7.30	6.93	▲0.37
外国債券	-	-	-	-	-

外国債券・投資信託の評価損は▲200億円超に拡大

有価証券関連収益推移 (億円)

【有価証券収益】

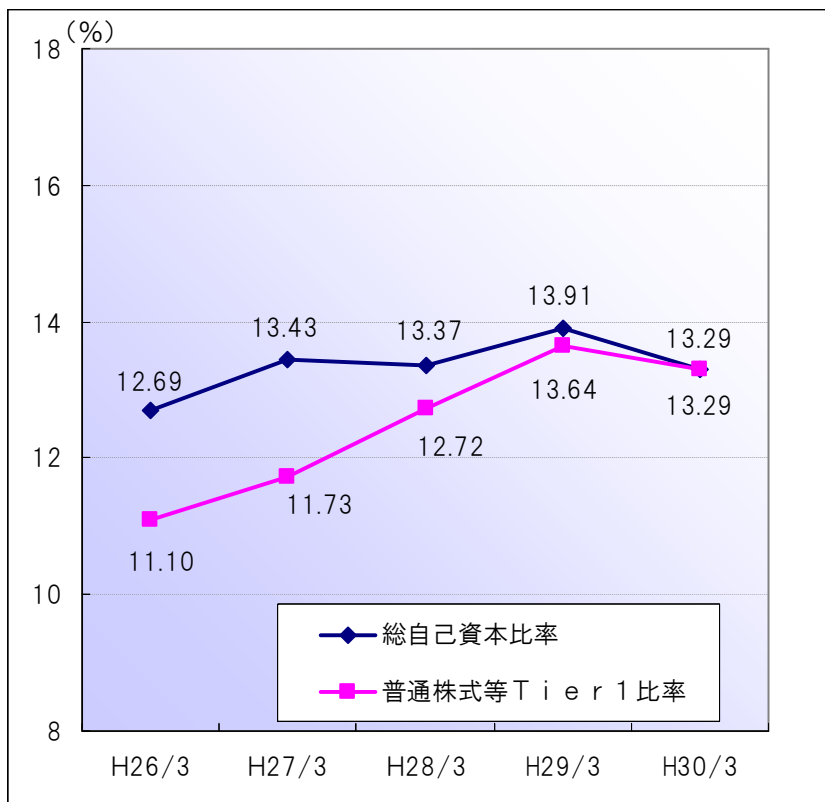
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
3行合算	342	365	382	316
山口銀行	219	235	232	224
もみじ銀行	120	119	144	82
北九州銀行	3	11	6	9

Yamaguchi Financial Group

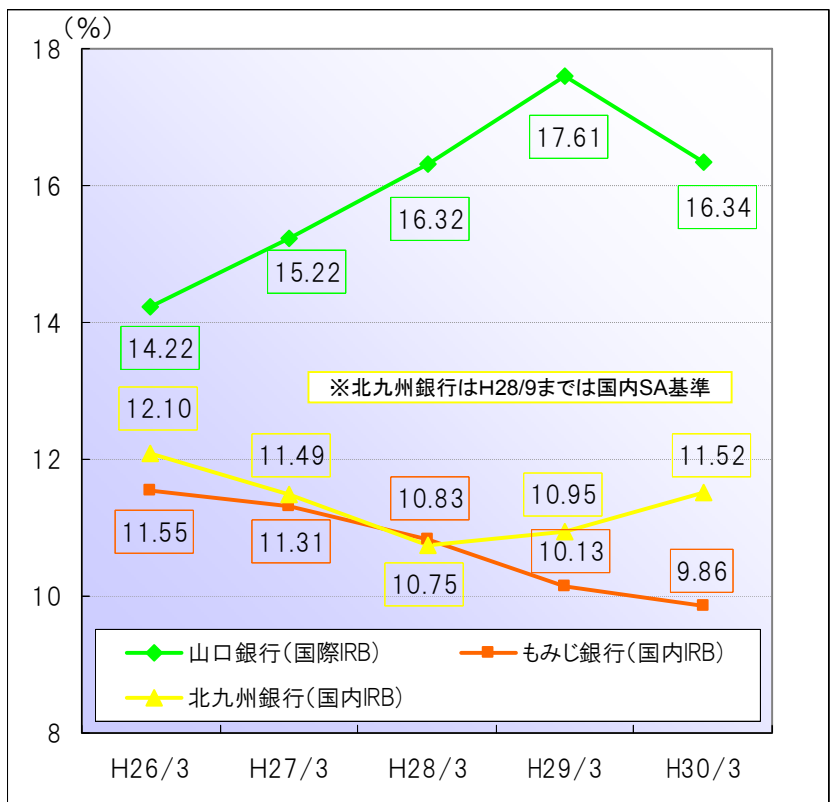
# 自己資本比率の推移 (FG連結・グループ内銀行)

- 山口FGの連結総自己資本比率、平成30年3月末 13.29% (前年比▲0.62%)。
- グループ内銀行の貸出金の増加(▲0.33%)、投資信託の増加(▲0.25%)により、リスク・アセットが増加。

山口フィナンシャルグループ連結



グループ内銀行の自己資本比率



# 平成30年度業績予想について

# 平成30年度決算見込み(グループ連結)

●平成30年度通期決算については、有価証券収益の減少、与信費用の増加を主因として、  
 経常利益390億円(前年比▲88億円)、当期純利益260億円(前年比▲69億円)を見込む。

	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比
コア業務粗利益	1,090億円	1,030億円	▲60億円
資金利益	908億円	860億円	▲48億円
うち①預貸金収支	694億円	697億円	+3億円
②役務取引等利益	185億円	200億円	+15億円
<b>経常利益</b>	<b>478億円</b>	<b>390億円</b>	<b>▲88億円</b>
親会社に帰属する 当期純利益	329億円	260億円	▲69億円
1株当たり配当	20円	22円	+2円
貸出金平残(3行合算)	69,063億円	72,093億円	+3,030億円
貸出金利回り	1.08%	1.05%	▲0.03%
<b>(ご参考)</b>			
3M Tibor(平均)	0.06%	0.07%	+0.01%
10年国債(平均)	0.05%	0.08%	+0.03%
日経平均株価(平均)	21,000円	23,000円	+2,000円

今年度は、ビジネスモデル変革のための  
 行動改革(営業ノルマの撤廃)  
 ①邦貨預貸金収支:610億円(▲5億円)  
 外貨預貸金収支:87億円(+8億円)  
 ②法人部門収益:+9億円(P15参照)  
 (事業承継・M&A等手数料収益)  
 個人部門収益:+7億円(P16参照)  
 (ワイエム証券・保険ひろば等販売手数料収益)

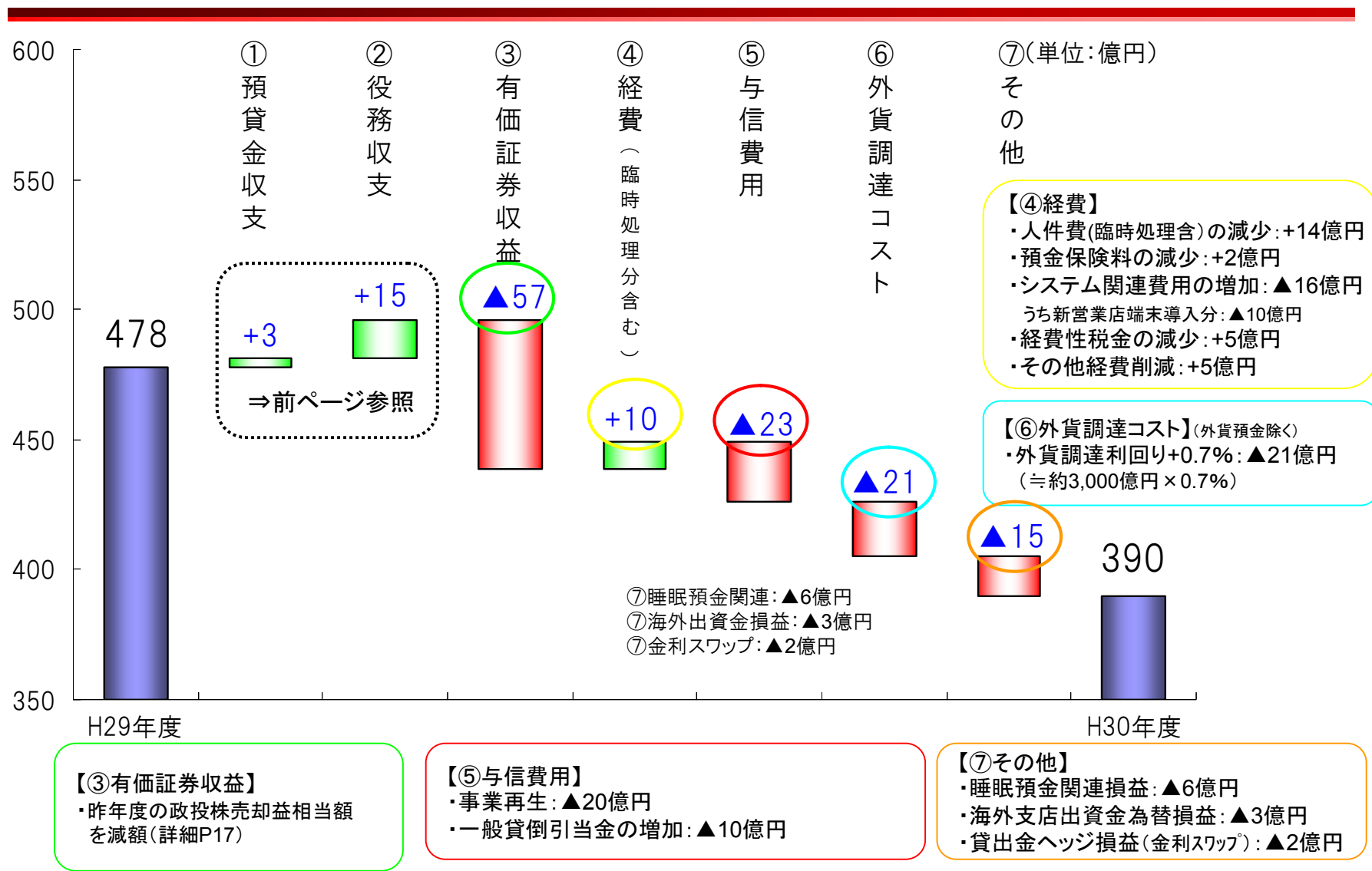
詳細は次ページ

⇒中間配当11円(+1円)／期末配当11円(+1円)

⇒前年比+4.4%増

うち法人向け :45,756億円(+5%)  
 うち個人向け :12,575億円(+8%)  
 うち地公体向け :9,915億円(+3%)  
 うち外貨貸出金 :3,847億円(▲4%)

# 連結経常利益 増減要因(平成29年度⇒平成30年度)



# 平成30年度決算見込み(グループ内銀行)

●グループ内銀行の平成30年度決算についても、有価証券収益の減少を主因として 各行減益となる見込み。

	山口銀行			もみじ銀行			北九州銀行		
	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比	平成29年度 (実績)	平成30年度 (計画)	前年比
コア業務粗利益	519億円	493億円	▲26億円	341億円	300億円	▲41億円	117億円	122億円	+5億円
コア業務純益	237億円	208億円	▲29億円	129億円	84億円	▲45億円	36億円	41億円	+5億円
経常利益	327億円	265億円	▲62億円	120億円	105億円	▲15億円	47億円	40億円	▲7億円
当期純利益	240億円	195億円	▲45億円	91億円	80億円	▲11億円	34億円	30億円	▲4億円
貸出金平残	36,911億円	38,722億円	+1,811億円	21,481億円	22,168億円	+687億円	10,670億円	11,203億円	+533億円
貸出金利回り	1.08%	1.06%	▲0.02%	1.10%	1.06%	▲0.04%	1.03%	1.01%	▲0.02%
有価証券関連収益	224億円	188億円	▲36億円	82億円	67億円	▲15億円	8億円	5億円	▲3億円

Yamaguchi Financial Group